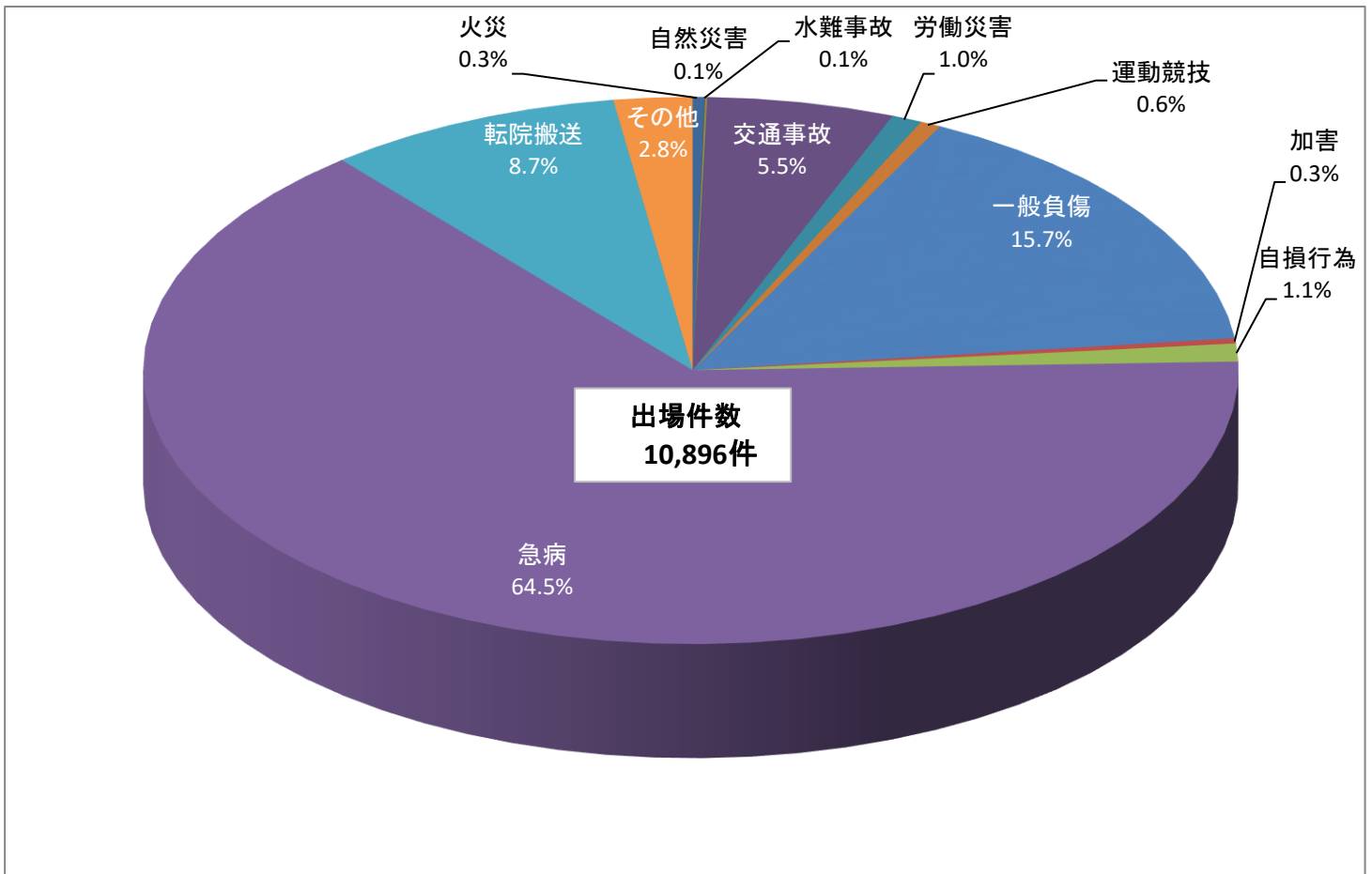


令和4年の救急出場件数(グラフ)



・事故種別ごとによる出場件数で最も多い「急病」は7,024件で、全体の64.5%を占め、次いで「一般負傷」が1,709件で15.7%、「転院搬送」が951件で8.7%、「交通事故」が601件で5.5%となっており、令和3年と同様の割合となっています。また、令和3年の出場件数と比較すると、「火災」、「加害」、「その他」は減少していますが、それ以外の事故種別については増加しています。

3 今後の課題

・令和4年の救急出場件数は1万件を上回り令和3年より1,337件増加しています。新型コロナウイルス感染症に対する関わり方が変化し、社会経済活動維持のため行動制限がなくなったことで、人流が活発化して救急需要が増加したものと推測されます。新型コロナウイルス感染症の新たな変異株の出現やインフルエンザウイルスとの同時感染拡大も危惧される中、本消防局においても徹底した感染防止対策を講じるとともに、救急車適正利用の普及啓発に取組み、救命率の向上を図ることが課題となります。